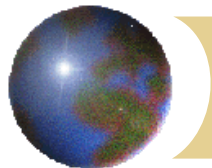


スマート・プランニングへの期待

0.「スマート・プランニング研究小委員会」とは

1. 技術革新への対応
2. 時代要請への対応

拠点性の高い都心⇔歩いて楽しい都心
道路空間の新しい機能⇔「場」機能
「交流」を生み出す「居場所」



スマート・プランニング研究小委員会 (土木計画学研究委員会)

メンバー(小委員会参加者名簿は41名)

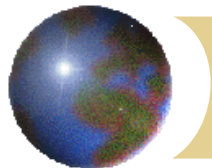
小委員長：原田昇

副委員長：藤原章正，越智健吾

委員：井澤佳那子，伊藤香織，佐々木邦明，
Giancarlos Troncoso Parady，力石真，
羽藤英二，原祐輔，福田大輔，福山祥代，山本俊行

概要：本小委員会は，都市計画分野におけるP T調査を用いた都市交通計画の高度化に向けて，プローブ調査やWi-Fiデータを用いたプランニング手法の研究開発と現場における普及・促進を目的とする。

期間：2017年6月-2020年5月（3年）



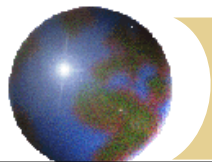
活動内容:

- 1) ワンデイセミナーの開催: 各自治体で蓄積されつつあるスマートプランニングの手法に関する普及促進を図るため、立ち上げ期において、ワンデイセミナーを開催し、研究・実践の網羅的レビューを行い、技術の共有を図る。
- 2) マニュアルの発行: 地方公共団体とコンサルタント向けのマニュアルの発行を行う。
- 3) ネットによる情報発信: スマートプランニングの普及に向けたネットによる情報発信サイトの構築を行う。
- 4) 事例の蓄積: スマートプランニングによる地域適用事例の蓄積を行っていく。

小委員会ホームページ:

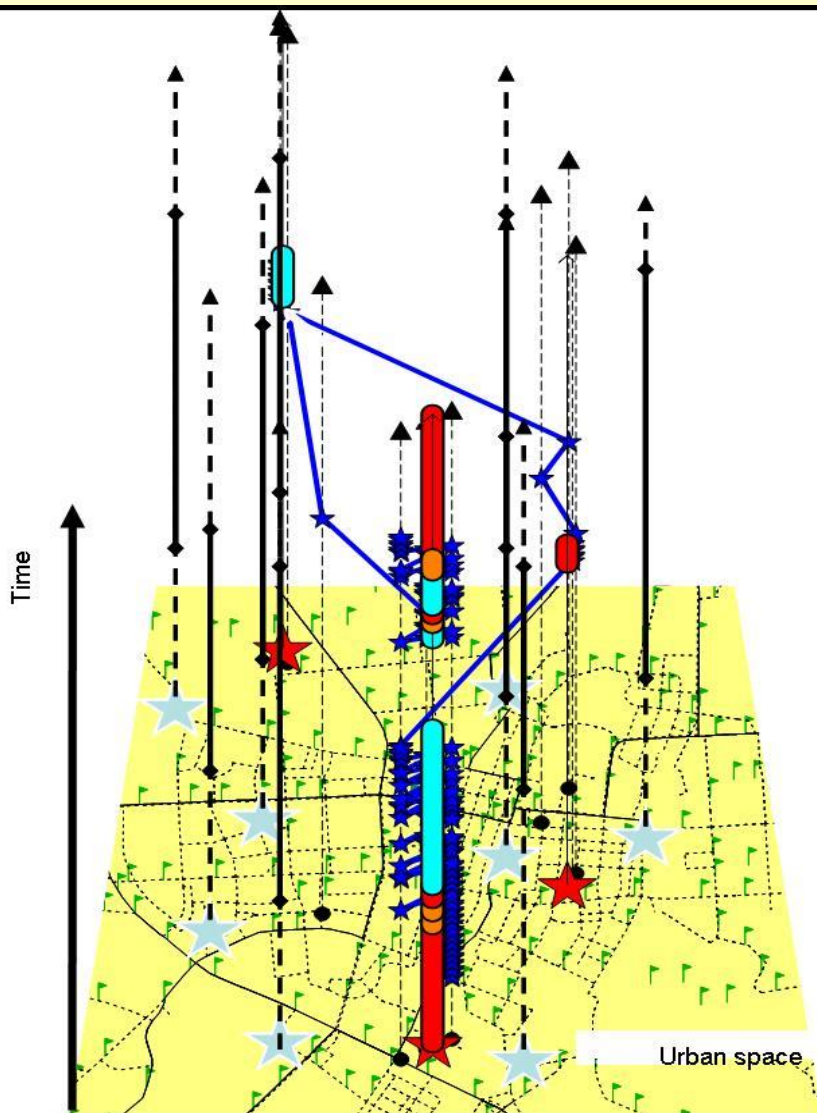
小委員会概要、研究組織(メンバー)、お知らせ(スマプら通信)、活動記録など

<http://www.jsce-ip.com/about/subcommittee/index.html?cat=study&id=56>

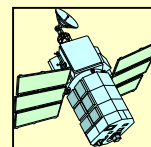


1-1. 技術革新・・・調査手法

活動記録の四次元診断



GPS
Mobile
Phone



活動入力

何時から(4桁数字)
0300

何時まで(4桁数字)
[]

何を?
[]

移動の場合の手段は?

☒ 鉄道
☐ バス
☐ タクシー・バイク
☐ 自動車
☐ 自転車・原付
☐ 徒歩

どこで

☒ 自宅
☐ 学校
☐ 会社
☐ (他)

その他の場合具体的に
[]

決定理由

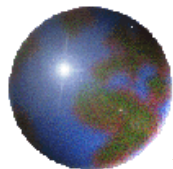
☐ 自分の意志
☐ 強制
☐ 他人とメール
☐ 他人と電話
☐ 他人と会話
☐ その他

誰と

☒ 1人
☐ 友人知人
☐ 家族
☒ (他)

---ここまで---

保存 menu



1-2. 技術革新…時空間ネットワーク

Time-space prism

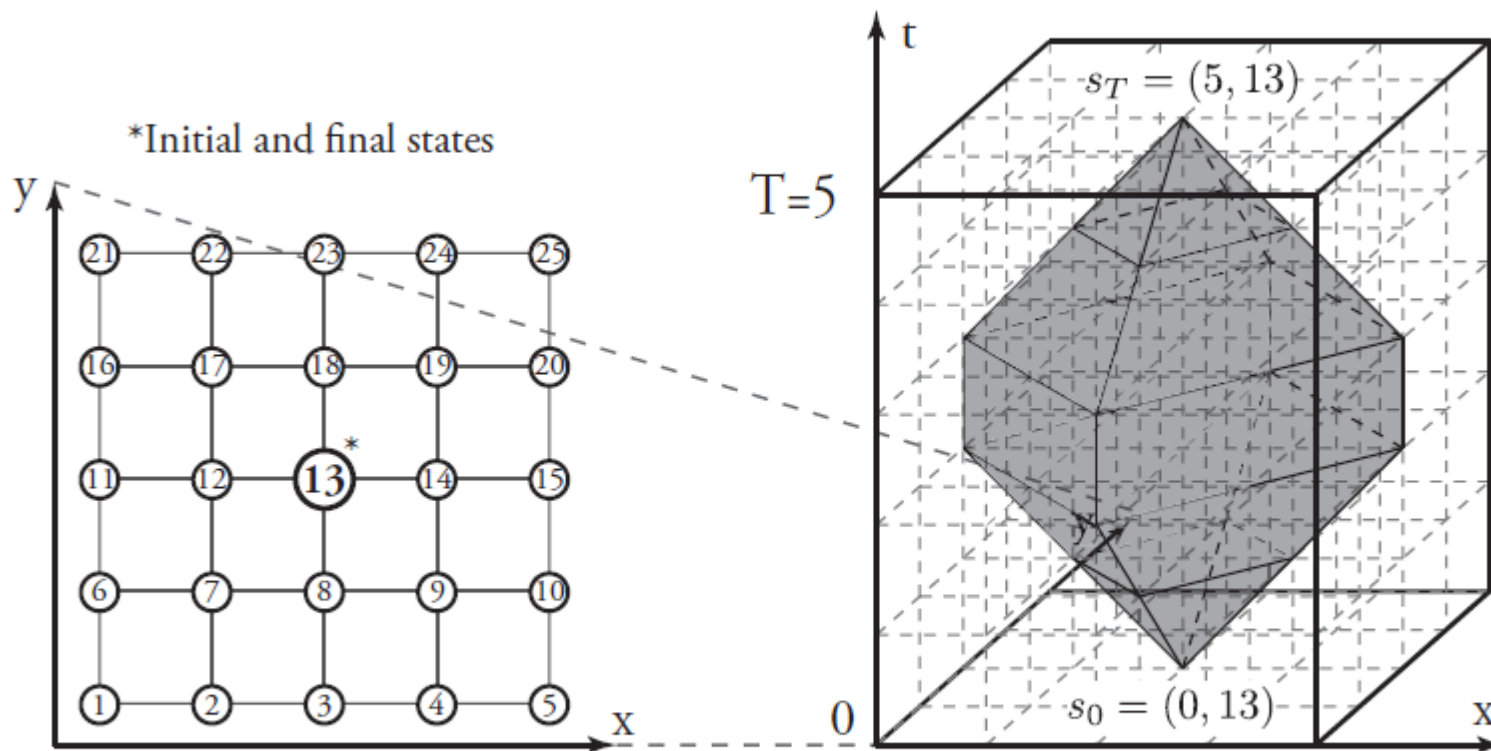
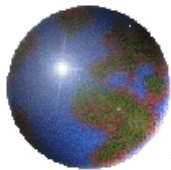
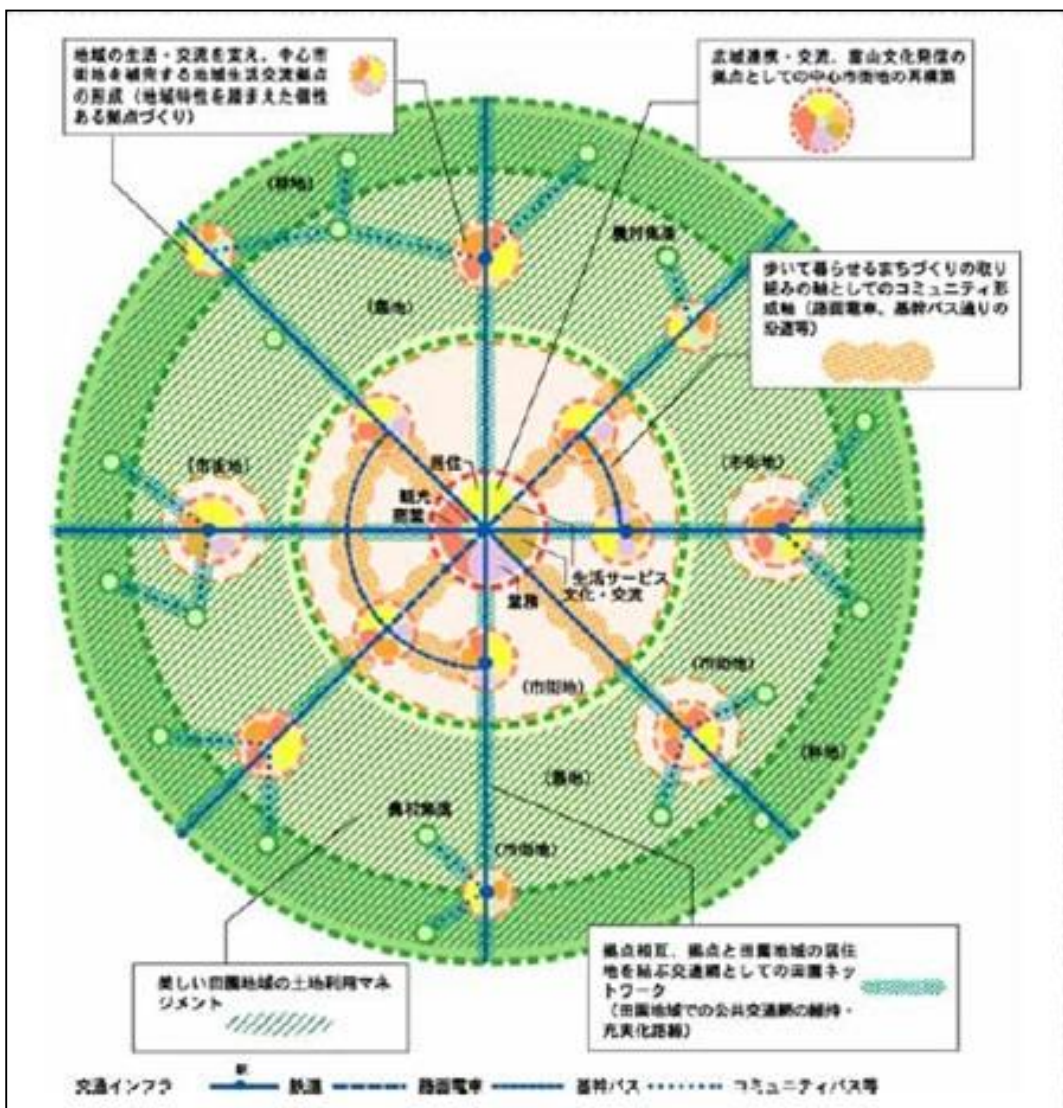


Figure: Illustrations of constrained networks by the time-space prism

出典; 大山雄巳、行動軌跡に基づく都市計画のためのマルコフ型経路選択分析



2-1. 時代の要請・拠点性の高い都心



「集約型都市構造」

- ・公共交通を軸とするコンパクトシティ
- ・歩いて楽しい都心

「公共交通の上下分離」

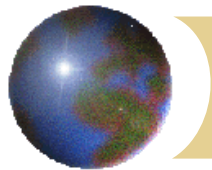
- ・財源確保の仕組み
- ・「契約」制度

「低廉な公共交通」

- ・ITを活用したSMN

「社会的費用の低減」

- ・環境プライシング



篠原修 「歩けるまち」とは

「歩けるまち」とは

- ・歩いてみなければわからない
- ・歩いているといい知恵が浮かぶ
- ・まちのまとまりをそのくらいの規模で考えよう

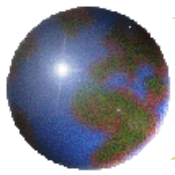
すんでいる人達が、たのしく歩けるまちにしよう

風景は動きがないと死んでしまう、風景は暮らしの中で生きるもの

朝に歩いて、きょうはいい天気だねとか、きょうは鳥が鳴いているねとか、仕事が終わって夕方だと今日は晴れていて夕焼けがきれいだとか、あしたの朝に雨が来そうだとか、

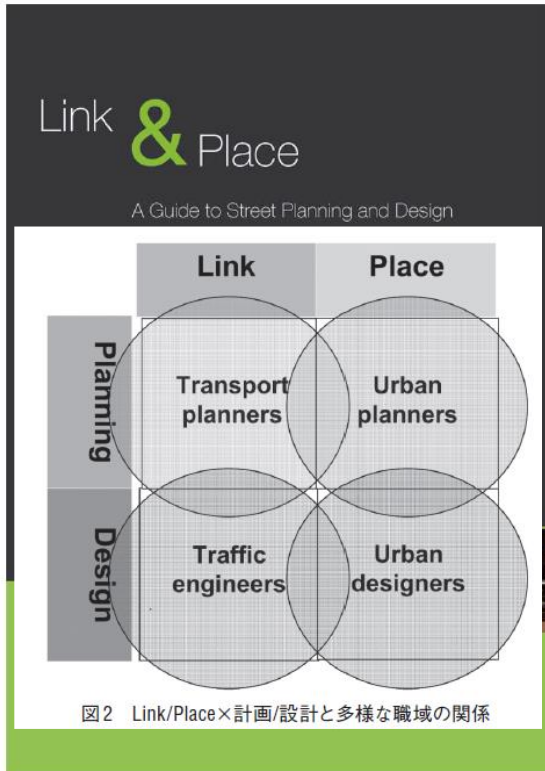
1年のサイクルで行くと、ことしはどうも紅葉がきれいじゃないよねとか、そういうことを体感できるというのが、生きている意味ではないかと思うのです。

出典; パネルディスカッション発言記録。 シンポジウム記録資料、小樽運河と石造倉庫群の保存運動から何を受け継ぐか、峯山富美氏日本建築学会文化賞受賞記念、2008年11月7日



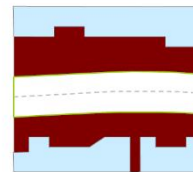
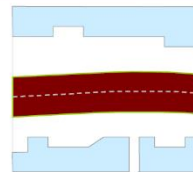
2-2. 時代の要請・・・道路の新しい機能

Link & Place: A Guide to Street Planning and Design 2007



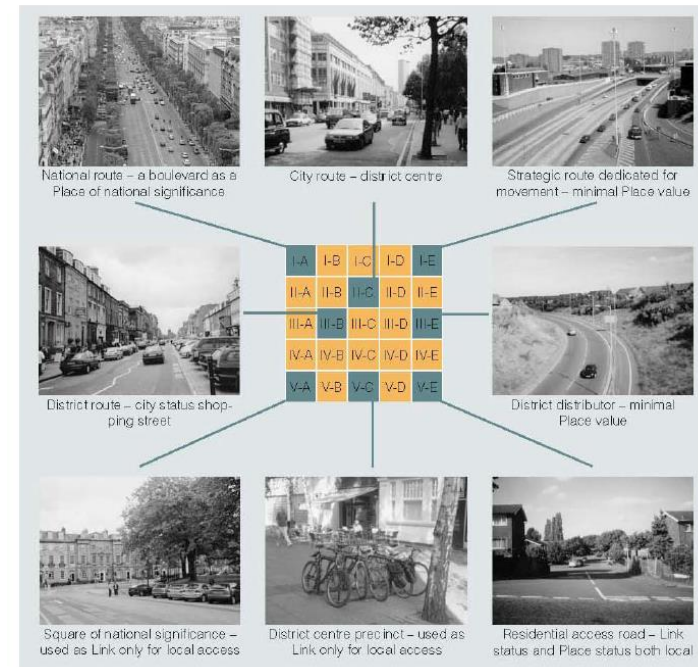
移動

活動



時間を節約する

時間を使う



Source: Jones, Peter, Natalya Boujenko, and Stephen Marshall. *Link & Place-A guide to street planning and design*. 2007.

参考: ピーター・ジョーンズ、Link and Placeの概念とイングランドにおける都市街路の計画・設計への適用、都市計画312、p60-63 (翻訳、高見淳史)



街路上広場を次々に創出したニューヨーク市プラザ・プログラム



駐車場や遊休地を“原っぱ”に置き換える「わいわい!! コンテナプロジェクト」(佐賀市)



人が中心の空間へと変わった丸の内仲通り(東京)



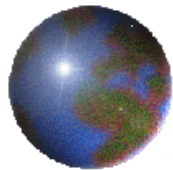
姫路駅前広場の展望デッキ「キャッスルビュー」から姫路城を望む(姫路市)



道路空間の新たな活用のための社会実験(岡崎市)



善光寺花回廊(長野市中央通り)



2-3. 時代の要請・・・「居場所」

✚ 魅力的な都市空間を創生するため、道路空間の多様な利用が進んでいる。

- ・ ニューヨーク タイムズスクウェア蝶ネクタイ(2010-18)
- ・ パリ 七大交通広場のグリーン化(2016-20)
- ・ ロンドン 「街路と道路に関するビジョンと方向性」
- ・ サンフランシスコ Parklet,「歩行者戦略」「Walk First」
- ・ ポートランド The Central City 2035, “Green Loop”
- ・ ソトノバ (<http://sotonoba.place/category/street>)

✚ これらは、「気の合う仲間と好きなことができる居場所」を創ろうとする時代の潮流である。

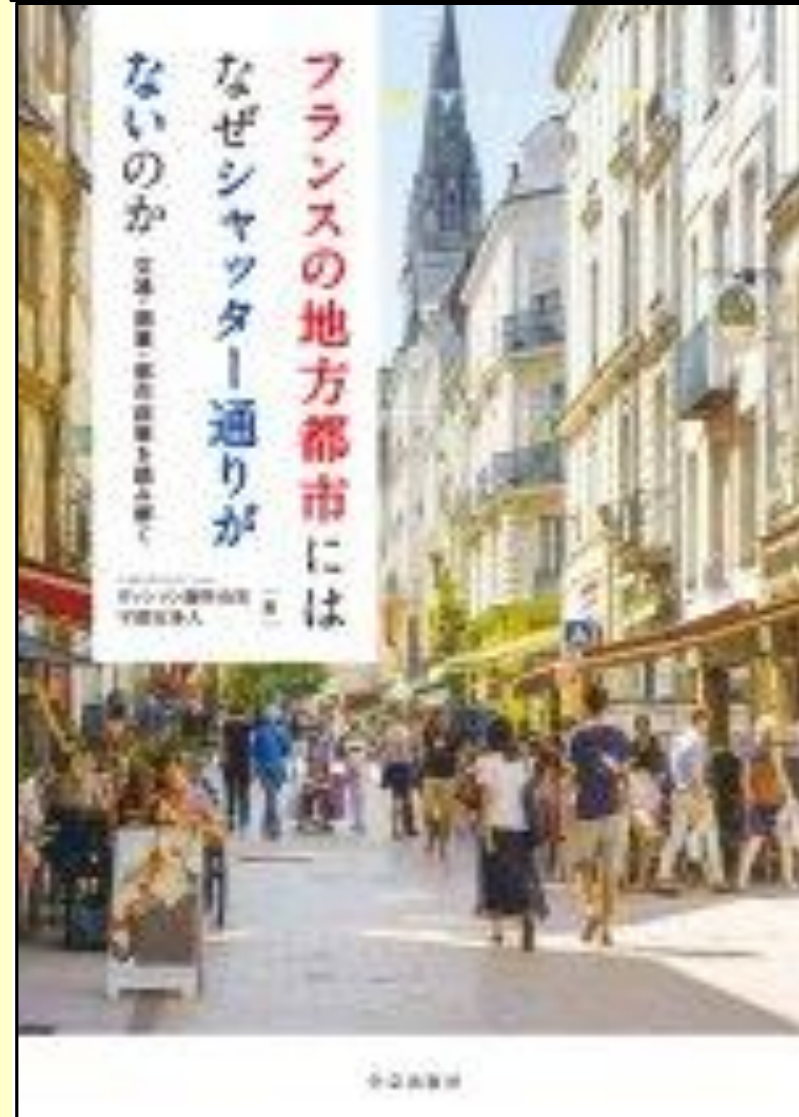
フランスの交通まちづくり ヴァンソン藤井

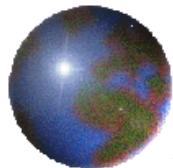
❖ 実はフランスは日本を超える「クルマ社会」である。しかし、人口15万人以上の地方都市の中心部には人が溢れ、活気に満ちており、「歩いて楽しいまち」となっている。フランスには、コンビニや宅急便はないが、それらを補って余りある豊かな暮らしが用意されている。

❖ ストラスブール「徒歩憲章」

❖ 「クルマが出現した20世紀に我々は大きな自由を手に入れたが、同時に『人と交わる』機会が少なくなった。クルマの登場で、人々は自分の閉鎖空間に閉じこもり、そこに紛れ込むよそ者には厳しい目を向けるようになった。まちを歩き、もう一度、市民がすれちがう『都市空間』を取り戻そう。」 つまり、

❖ 「人は歩き、人と出会い、自分とは違った文化や考え方をもち他の市民を尊重しながら民主主義が育ってきた。」





ご清聴、ありがとうございました。

- 1) 原田昇、「交通と一体的に進めるまちづくり」の基本的考え方、土木学会誌、99巻8号、8-11、2014年8月15日
- 2) 原田昇、「交通まちづくりと交通空間再生のあり方」、平成28年度情報化月間行事シンポジウム「都市の空間・活動の再生戦略を考える～地域の人たちの心に灯をともし都市戦略～」、2016年10月21日